



2026年5月13日
東日本旅客鉄道株式会社高崎支社
本庄デパート株式会社
高崎ターミナルビル株式会社
JR 東日本スタートアップ株式会社



～小さな挑戦を応援する新しい地域拠点、いよいよ開業～ 5月23日、アズ熊谷にオープン 駅の商店街「装う“so”」

- 東日本旅客鉄道株式会社 高崎支社、本庄デパート株式会社、高崎ターミナルビル株式会社、JR 東日本スタートアップ株式会社の4者は、「多くのきっかけと素敵な出逢いが生まれる“駅の商店街”」をコンセプトとした地域拠点「装う“so”」（読み方：そう）を熊谷駅直結の駅ビル「アズ熊谷」本館6階に開業します。
- 「装う“so”」は、駅ビルに低リスクで自分の場所を持ち、ビジネスの実践・ファンづくりに繋げ、やりたいことを小さく始めて大きく育てるための場所となります。
- 約1坪からお店を始められる「UNIT」は開業時点では4区画がオープンし、無人で展示・販売ができる「BOX」には開業時点から全23区画に作品が並びます。
- 「カフェ」には本庄デパートのメンバーが常駐することで気軽に相談できるコミュニティカフェとしての機能に加え、カフェのキッチンスペースを活用したポップアップの飲食店の展開なども順次行っていきます。
- 「装う“so”」は、誰もが気軽にチャレンジできる環境を整えることで、「高崎線リカレントスクール」卒業生の活躍の場であると同時に、地域で新たに挑戦を始めようとする人が活動を試せる場所となり、様々な出会いが生まれる、かつての商店街のような場所をめざします。
- 「装う“so”」開業にあわせて、同じく「アズ熊谷」本館6階のPLACE HALLに魅力的な商品を集めたマーケットを開催し、オープニングを盛り上げます。

1. 駅の商店街「装う“so”」の概要

- ・ **所在地**：熊谷駅直結 アズ熊谷本館6階（住所：埼玉県熊谷市筑波2丁目115番地）
- ・ **開業日**：2026年5月23日（土）
- ・ **施設構成**：UNIT（8区画[※]／1区画あたり 2.7～3.7㎡程度）
BOX（23区画／1区画あたり 幅55cm×奥行40cm×高さ40cm）※販売はカフェにて取扱い
カフェ（16席／51㎡）
※開業時は4区画での運営を予定しています
- ・ **営業時間**：UNIT 各UNITごとに異なる
BOX 10:00～18:00
カフェ 10:00～18:00
- ・ **休業日**：UNIT 各UNITごとに異なる
BOX カフェと同様
カフェ 不定休
※アズ熊谷の休館日は休業となります
- ・ **参考**：営業時間や定休日などの駅の商店街「装う“so”」の詳細については、以下のInstagramをご覧ください
@so.kumagaya
<https://www.instagram.com/so.kumagaya>

※本概要に記載の内容は、2026年1月27日付のプレスリリースから一部変更となっています

- ・ 施設イメージ：開業前のため、画像は生成 AI で展示品や人物を加えたイメージです



外観



UNIT



BOX

2. UNIT や BOX の出店者紹介

- ・ UNIT



店名：ayatori me

本庄デパートが協力しリノベーションした古民家で子供服・婦人服の販売をするayatori perchが出店。



店名：タイニードット ゲストハウス準備室

チャイを提供しながら、世界の旅のお勧めの場所や旅を楽しめる情報を提供。

(高崎線リカレントスクール卒業生)



店名：Yui

「薄切りの刃離れ」「砥ぎやすさ」「安全性能」など和包丁と洋包丁の特徴を合わせ持った進化系包丁を販売。初の固定店舗。



店名：はり灸yosuga

目に見えないバランスの乱れをやさしく読み解き、無理のない整え方をご提案。まずは 5 分のチェックで、ご自身の状態を確認。

・ BOX

手作りのアクセサリや雑貨、ファッション小物を制作しているクラフト作家の作品を全国各地から取り寄せて、展示販売を行います。通常はネットショップでの販売が中心のクラフト作家も多く、実物を手に取ることができる貴重な場所として運営していきます。

(代表例)



店名：^{アラーム}ARAM

子ども向けリュックを中心に、毎日にそっと寄りそうバックと雑貨を販売。



店名：^{オジオジ}OJIOJI

人と被らないけど、どんなコーデにも馴染む“ちよい癖”のあるアクセサリを販売。

3. カフェについて

カフェは飲食の提供にとどまらず、本庄デパートメントのメンバーが常駐することで、気軽に相談できる場となり、多様な人との交流できる場ともなります。

浅煎りコーヒーや季節ごとに変わる無農薬の果物を使ったクリームソーダを中心に、軽食やランチなどを提供します。さらに、ポップアップでの飲食店の出店なども不定期に行っていきます。

4. マーケットについて

「装う“so”」開業日には、隣接する PLACE HALL にて上記以外に 10 ショップ以上が集まるマーケットを開催します。高崎線リカレントスクール卒業生による焼菓子や軽食等の販売、写真展示、フォトブースの設置、苔テラリウムのワークショップをはじめ、熊谷・本庄エリアを中心に活動するショップが出店します。

- ・ **開催日時**：5月23日（土）10:00～16:00
- ・ **開催場所**：熊谷駅直結 アズ熊谷本館 6階 PLACE HALL



店名：^{フル オフ グリーナリー}Full Of Greenery

デスクや棚に飾れる小さなインテリアアグリーンの苔テラリウムの制作体験や販売を実施。

（高崎線リカレントスクール卒業生）



店名：^{ランスタウン}LANSDOWNE
MARKET

深谷の食材を活用したお菓子や軽食を提供。

（高崎線リカレントスクール卒業生）

5. 参考

高崎線リカレントスクールは新たな展開へ、「装う“so”」を開設（2026年1月27日プレスリリース）

https://www.jreast.co.jp/press/2025/takasaki/20260126_ta01.pdf

※画像はすべてイメージです

【報道機関お問合せ先】

東日本旅客鉄道株式会社 高崎支社 広報 TEL 027-328-7258

本庄デパートメント株式会社 担当：早川 Email mail@honjodepartment.com

高崎ターミナルビル株式会社 担当：地域創生部 小野 Email gunma_iroha@takasakitb.co.jp

JR 東日本スタートアップ株式会社 担当：中村元 Email pr@jrestartup.co.jp / TEL 03-6778-4366

■本庄デパートメント株式会社

本庄デパートメントは、埼玉県本庄市を拠点に、商店街や既存建物を活用した拠点づくり・事業創出に取り組んできました。

- ・ 約 5 年間で **16 の事業・拠点の立ち上げ・運営に関与**
- ・ 商業、飲食、ものづくり、コミュニティ拠点など多様な分野を支援
- ・ 行政、民間、金融機関等と連携したエリア単位での取り組み実績

特徴は、「準備が整ってから始める」のではなく、**始めながら育て、次の展開につなげる支援設計**にあります。

本庄エリアでの取り組みを広げて 2024 年度より、JR 東日本グループと連携し「高崎線リカレントスクール」の事業についても推進しています。

Web サイト：<https://honjo-department.com/>



■高崎線リカレントスクール

高崎線リカレントスクールは、高崎線沿線を舞台に、地域での実践を通じて学び合い、次の挑戦につなげていくことを目的としたプログラムです。沿線各地を学び舎に見立てながら、学校では教わらない地域のことや専門分野を学びます。

街なかや駅なかの空間を活用して、地域の事業者や各分野の専門家による全 6 回のゼミを行い、駅のコンコースを活用した公開プレゼンテーションにて自分のやりたいことを発表し、スクールの集大成として駅なかでのマーケットにて実践をしてみるプログラムとなっています。やりたいことを仕事にしたい人、地域で活動したい人、拠点をもちたい人が集い、お互いにブラッシュアップできる関係性が育まれています。

また、高崎線リカレントスクールの取り組みは、JR 東日本グループとともに持続可能な地域づくりを進める個人・団体の優れた取り組みを年 1 回表彰する「JR 東日本地域共創アワード」において、第 3 回最優秀賞を受賞しました。

(参考：https://www.jreast.co.jp/press/2026/20260421_ho01.pdf)

今後も本スクールは、毎年の実施を予定しており、熊谷駅での地域拠点「装う“so”」での取り組みとも連動しながら、学びと実践が循環する高崎線沿線づくりを進めていきます。

Web サイト：<https://recurrentschool-jr.honjo-department.com/>

